

春を楽しむ会

H20.4.6 於：殿山ガーデン

INDEX

春を楽しむ会	1~2
新春のつどい	2~3
政策一泊研修	3
会員寄稿	4~6
代議士寄稿	7
若手向け経営研修会	8
新春朝食例会	9
ボウリング大会	9
異動・行事予定・編集後記	10

## 春の息吹を浴びて



平成20年4月6日(日)、春を楽しむ会を開催しました。

場所は殿山ガーデン、12時から開始の予定で準備をし、千葉NTT前から送迎バスが11時に出発、11時半には現地に到着しました。

前日の雨が嘘のように、桜も最高の見ごろで暖かくポカポカ陽気でした。現地直行の方も続々と集まり開始前から多少飲み会がはじまりました。

殿山ガーデンさんのはからいで、野の上段を貸しきりにして頂き6テーブルを大人22名・子供7名の計29名で開宴です。

まずは乾杯。乾杯の音頭は山本さんをお願いし、パーベキューをスタート。子供達は「子供のビール」と言う泡のどる

ジュースを頼み大喜び、「何でも良いから絵を書いて下さい」とスケッチブックと色鉛筆を渡しお願いしたところ、こころよくひき受けてくれました。大人は酔うにつれビールだ、焼酎だ、ウイスキーだと例年以上のご機嫌で、グラスの中には桜の花吹雪。最高の日和です。噂によれば明日は雨。

臼井代議士に緊急の予定が入り残念でしたが、代わりに久美子夫人に出席して頂き、話しも盛り上がりました。

予定では、3時に解散出発のバスも一時間延長し最後の最後まで春の宴の一日は限りなく盛り上がりました。

参加していただきました皆さん、本当にありがとうございました。

親睦委員長 土屋 文武

## お花見

木村 優介

お父さんのさそいで月星の会へ行きました。殿山ガーデンでした。知らない友達と鬼ごっこやリレーなどして遊び、土屋お兄さんに桜の絵を描くよういわれ、書きましたが、うまく書けませんでした。それはパパのせいです。



え：木村 優介さん



え：やまもと みなさん

バーベキューでは、風が吹くたび桜が散って、みんなが「お………」と言いながらはくしゅしました。とってもきれいでした。牛と豚肉がとてもおいしかったです。

大人の人達はお酒を飲みながら、とってもにぎやかでした。やっぱり桜の花見は最高です。楽しかったです。

## 春を楽しむ会に参加して

臼井日出男事務所

桑田 久雄

春の息吹を感じることができる絶好のお花見日和!!。桜の花びらが降り注ぐなか宴はスタート。

千葉市の桜の名所20選にもなっている庭園で野外バーベキューコーナーです。

さくらの花びらがひらひら頭の上やグラスの中に・・・そのまま飲み干し「ああ春ですね。」

子供たちもそれぞれの個性を発揮して、大人は酔いしれて皆さん頬張っていました。

花見の準備をしていただいた方々、本当にありがとうございました。

## 新春のつどい・賀詞交換会

H20. 1. 26 於：ホテルグリーンタワー千葉

## 新春のつどい・賀詞交換会

平成19年度新春のつどい・賀詞交換会は、平年にもまして寒さが厳しい1月26日(土)にホテルグリーンタワー千葉において、78名(会員59名、ビジター17名)の参加により開催されました。

第1部の新春のつどいは、高柳経営研修委員の司会で、岩田会長の挨拶、阿佐相談役の講師紹介の後、毎週金曜日ラジオ日本の「ミッキー安川のすばり勝負?」等のトーク番組でパーソナリティーを務め、歯に衣着せぬ語りでおなじみのミッキー安川さんから、「ここがおかしい!今の日本——ミッキー安川流政治社会問題を斬る」と題しお話を伺いました。

講演には、前日の深夜番組でミッキーさんが、「オレ明日千葉のホテルで講演するんだよ」と話されたことから、ラジオを聴いた方が何名かおこしになり、講演を聞いて行かれました。

千葉県は発展もするけれど、撤退するのも早い所です。県民性でしょうか。ちょっとビックリの言葉でミッキーさんのお話はスタートしました。自分の自由な身のこなしも、九十九里片貝出身の親父の影響でしょうか?とミッキーさんと千葉県との関わりを話されてから自分の生い立ちに入っていました。

先の大戦における学童疎開の経験、敗戦の混乱で満足な勉強もできなかった高校生活、18歳でアメリカに渡ってからの破天荒な体験等々、まさに波乱万丈の人生を話されました。「私のトーク番組では、台本がありません。人生には台本がないでしょう。見たり、感じたりしたことを素直に受け止めること、過ぎ去ったことを直視すること、このことが人生で大切なこと

だと思います」と言われたことは、反面教師的で納得出来るものがありました。

その後で、ミッキーさんは、政治を中心とした社会情勢の話しに入っていました。特に、イラク戦争前後のアメリカ社会の対応やアメリカ大統領選挙の話は、長くアメリカで過ごしてきたミッキーさんならではのお話でした。

「こんなことを言ったらまずい、と言う談合的な考えは古い体質です。自分の立場をはっきり言うことが大切です。外交においても、会社経営においてもです。世の中を変えてゆくのは、あなた自身ですよ」ミッキーさんは、少し重い言葉で講演を締められ、第1部の新春の集いは、千葉相談役のお礼の言葉で終わりました。

講演の途中でちょっとしたアクシデントがあり皆一瞬驚きましたが、ミッキーさんは、動することなく最後までお話を続けられ、さすが場慣れをしていると感心しました。

第2部の賀詞交換会は、黒田青年部長の司会で、岩田会長と、うすい先生のご挨拶の後、坂下雅紀さんの入会式が行われ、藤原直前会長の乾杯で、賀詞交換会が始まりました。何時もの賑やかで、和やかで、華やかな宴会です。そして津軽三味線の紺谷英和さんと、甲斐いつろうさんのパーカッションの競演、さらに徳間ジャパン専属歌手・内藤ひろ子さんの明るい歌声が、新春にふさわしく、宴会に一層の花を添えてくれました。楽しいひと時はアツアツという間に過ぎ、初山副会長の手締めで、今年の新春の集い・賀詞交換会は、盛会のうちにお開きになりました。

さて、翌日の番組で、ミッキーさんが、月星会の講演会の状況をもうお話しされていました。ミッキーさんは何時もお休み

## 一泊研修を終えて

2月17日(日)～18日(月)の研修に参加頂いた皆様、多忙の中有難う御座居ました。お礼申し上げます。研修目的でありますが、『観光立県「千葉」の現況』としまして、房総方面に行きましたが、お花の季節で花摘みに若干の賑わいでありましたが、誕生寺、清澄寺は土産店共寂しい限りで有りましたが、今一步の努力が必要かと思えます。宿泊先の蓬莱屋旅館にて、公職選挙法を勉強し、翌日の新日鉄視察先では、鉄鉱石から製品が出来るまでの鉄鋼業の「資源循環型生産システム」を視察し、又、プラスチックリサイクルについても見学させて頂きました。地球温暖化の問題をも業界をあげて取り組んでおりました。限りある資源、私達は子孫の為に何が出来るか、



リサイクル、温暖化、CO2対策、ゴミの削減、まずは出来る事から、私達で取り組みましょう。月星から発信！

政策委員長 木村光慶



しているのでしょうか?そのバイタリティーに驚かされます。ひょっとしたら、Mickyは、Mikeの通称で、ミッキーさんはマイクが好きなのでは?・・・と思いました。

文責：伊藤嘉国

人ひとりが当事者意識をもって考え、行動することが大切だ」という意味の話で締めた話術は、ケネディの就任演説を彷彿とさせる迫力さえあった。

若い!私が高校生の頃からラジオやテレビで見聞きしてきた方だから相当ご年配ではあるはずだが、話をしているときには、年齢を全く感じさせない。氏にゆかりのある千葉の話織り交ぜるあたりは、さすがのサービス精神であった。

懇親会。臼井先生のご挨拶が終わったあたりから格調の空気が少しずつ溶けていく。お酒はありがたいものである。新人の私を心配して隣に座ってくれた徳永さんも、お正月の格調から解放されたかのようにあちこちで祝杯をあげている。臼井先生も、ご機嫌である。

そのうち津軽三味線の演奏が始まり、終わると演歌が聞こえてきた。タイトルが、「あんたに溺れて候」。ふと周りに目をやれば、溺れてしまいそうな麗しき美女があちらにも、こちらにも……。あっ、私の隣には最初から着物の美女が座っていたんだっけ!

楽しい宴だった。月星会には、品格がある。しかし、決して皆、おカタイ人々ではなく、軟らかな心を持った集まりだと実感。軟らかな心は、すなわち若さである。月星会には、アンチエイジングのクスリがあるのかもしれない。臼井先生のお話の中にあつた、「お互いに助け合いながら」というフレーズが、妙に印象に残った。



### 賀詞交換会に 初めて参加して

株式会社中経出版  
奥平 恵

みんな若くて素敵なたちだなあ。

初めて参加した感想をひと言で表せ、と言われたらそう答えたい。

1月26日、月星会の賀詞交換会。「賀詞交換会」などと大仰なタイトルがついているので、少々ビビりながら出向いたものである。

確かに、格調はあった。会長挨拶に始まる式次第は、厳格に進んでいく。さすがは皆、一国一城の主。役割を完璧に果たしていく。

ゲスト講師のミッキー安川氏。キャラクター通りの軟らかな話に、会場は度々爆笑に包まれるが、さすがに品格がある。最後に、「混迷する日本の現状を変えていくには、一

## 会員寄稿

貴方がどげんかせんといかん時、一発奮起するために、どんなふうにして心を奮い立たせますか？ピンチに陥ったとき、自分にはこんなふうを考えたり、心の拠り所にするという知恵を投稿していただきました。



### 『五里霧中に光と風』

株式会社カナダ工作所  
金田 敏彦

長い昼寝から目を覚ましたら、そこは漠然とした荒野だった。何処にも人影はない。岩と赤茶けた土ばかりの平原がどこまでも続いている。足元を見れば、枯れ草が岩の間に無惨に張りついている。枯れ草と岩の間を摺り抜けて行く風の音だけが微かに聞こえる。何という寂しい景色なんだ！ここは何処だ！と叫ぼうとした瞬間、我に返った。

窓の外は日暮れの気配で満たされている。裏山の土手に繁茂しているモウソウ竹の葉が弱い風に揺れていた。この「二重の夢」から目覚めたある夏の日の出来事が、私の脳裏に鮮烈に焼き付けられている。もしかすると、現在この瞬間の出来事さえ夢の中での事かも知れない。そんな妄想を抱いてしまうのだ。

人生の半ばを越えた頃から、おかしな錯覚を覚えるようになった。実際に自分が経験した事と、夢や映画や小説の中で見た出来事つまり疑似体験に過ぎない事を、混同してしまいそうになるのだ。

ある女性と一緒に鄙びた温泉宿に泊まった事があったような気がするのに、何時頃何処の温泉に行ったのか解らない。昔の写真を探してもそのような痕跡は全く無い。人生時間を丁寧にさかのぼってみると、それは小説の中の出来事であり女性は実在しない人だったなんて事もあった。

海辺の風景がたまらなく懐かしい。平和で暖かな漁村、そこには印象に残る人々が暮らしていた。再度そこを訪れてみたいとしきりに念じているのに、それはある晩に見た夢が作り成した心象風景であった。どんなにあがいても夢の中に入り込むのは無理な話だ。

実体験は素晴らしい、何にも勝るものだ。と、若い頃から思って来た。しかし現実に起こった感動的な体験であっても、次の瞬間には過去のものになっている。過去の出来事が我々の脳裏に写し込まれた記憶か、またはビデオや文章のような記録でしかないとすれば、実体験と疑似体験の差なんて微々たるものと思えてならない。日々生きることで塗り重なって行く記憶の影を、より確実なる思い出にすべく、毎日と同じように生きて追体験をしているに過ぎないのではないか？

あの感激をもう一度味わいたい。日々新たな出会いと新たな体験をしたい。私は、こんな思いと願いを持って60年間生きて来た。その願いのほぼ全てが叶えられたと実感する昨今になった。

しかし、ある日……

さっぱりとしたさわやかな気分だ、よく眠ったな。あれ！頬をつねっても痛くない。これはどういう事なんだ？

よく目を凝らしてみると下のほうに大勢の人が集まっている。葬儀場ではないのか？そうか、俺の葬式が行われているんだ。あそこに横たわっているのは自分そしてそれを囲む人々、でもそれらはすべて夢の中の映像なのだ。今まで現実だと思ってあがいて来たけれど、すべては人生と言う夢の中の出来事であり、爽やかに目覚めて自由な気分になっているのが本当の自分だったのか。

……そんな事が起こるかもしれない。



### 私の信条

株式会社センエー  
山本 康昭

人生も60歳を過ぎれば、今までの私生活や企業人生活を送って来た上での信条として、言い当てているなと感じる名言がいくつかありますが、一つは『人間は行動した後悔より、行動しなかった後悔の方が深い』という言葉です。

長い人生で様々な局面や困難に遭遇したとき、進むべき方向を決めたり、決断したりする機会は少なからず訪れますが、人間つつい問題を送りしたり、避けて通ることを考えがちですが、そうすることは後々振り返ったとき、良い結果を招いたことは少なかったように感じます。勿論、検討不足だったり、無謀で恥ずかしく人に言えない結果も数多く招きましたが、その時点で熟慮し、自分の導き出した結論に沿って行動すれば、結果はどうであれ、後悔する度合いは格段に違うのではないのでしょうか。

昔から「下手な考え休むに似たり」とか「後悔先に立たず」とか色々矛盾することとも言われますが、行動を起こさなかったときの後悔は深く心の傷として残るものです。それも若い時ほど行動に移して試みるのが大事ですし、結果的に招いてしまった後悔なら、その後の判断に大きな力となって役立つはずですよ。

それともう一つ『他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる』という言葉です。これも様々な局面で使われる言葉ですが、精一杯の決断と行動や、その結果生まれた後悔を積み重ねてゆけば、自分の未来は変わってゆくものです。



## 「困難」「苦難」とは

アリコジャパン千葉中央 A/O  
吉田 光一

ここに来て景気の悪化が鮮明になってきました。特に中小企業においてより一層厳しい状況です。経営者にとって良い時などはほんのひと時です。経営に限らず人生は困難の連続です。困難や苦難は誰にでもやって来ます、避けられないものです。そして、この困難・苦難によってその人の真価が現れます。

日経新聞に連載中の「私の履歴書」ではトステム(東洋サッシ)の創業者・湖田氏が今までの人生を振り返って書いています。その経営者人生は正に困難・苦難の連続です。困難・苦難に対して逃げる事なく真正面から謙虚に冷静に乗り越え、その事によって会社が成長していく姿が書かれています。困難・苦難は自らの成長にとってなくてはならないものです。自らの能力を高める場なのです。

マクドナルドの創業者レイ・クロックもいくつもの困難を乗り越え、その度に成長し世界一のハンバーガーチェーンを作り上げました。そのレイ・クロックがこのように言っています。

「やり遂げる」—この世界で継続ほど価値のあるものはない。  
「才能は違う」—才能があっても失敗する人はたくさんいる。  
「天才も違う」—恵まれなかった天才はことわざになるほどこの世にいる。

「教育も違う」—世界には教育を受けた落伍者が溢れている。信念と継続だけが全能である。と。

困難にはそれと同等あるいはそれ以上の利益の種が潜んでいます。さらなる成長のためにぜひ立ち向かって行きましょう。



## お仕事に出始めた頃 心に残った言葉

シャンドール  
竹口 満代

### 「笑顔」

満面の笑みはその場を和やかにし  
相手に好意と安心を与えます  
愛情と笑顔 人間にとってより  
大切なのは笑顔になると思います  
又笑顔は地球語であり  
国境を越えた人類共通の  
愛の言葉だと私は想います



## 聖書が心の支えです

徳永社会保険労務士事務所  
徳永康子

恐れてはならない  
わたしはあなたと共にいる  
驚いてはならない  
わたしはあなたの神である  
わたしはあなたを強くし  
あなたを助け  
わが勝利の右の手をもって  
あなたを支える

イザヤ書第四十一章十節

自分を見失いそうな時、自宅の額に書いてある御言葉を  
見上げ何度も読みます。



## 仲間と共に歩もう

株式会社千葉産業  
千葉 英隆

私も40年間経営をしてみりました。その中で最初は何も考えずに会社を作りました。その時は人の3倍働く事を頭に入れ仕事をしました。だんだん仕事をしていく中で売れたり利益が出たりの喜び、社員の教育、退職、お客様の倒産、銀行との対応、業界の景気、同業者間の競争、その他いろいろな事が起こり成功、失敗を体験しながら経営をしてきました。

私も皆さんも仕事をする中で辛いときが多いと思いますが自分だけと思わず皆一緒だと思います『気持ちの切り替え』をして先に進む事が大事だと思います。

又人生、経営の中で悩みがある場合は月星会始め、いろいろな会の中で知り合い特に何でも話しが出来る人をより多く作り、今自分が悩んでいる事を相談し良く考え実行する。それには困難な事にも積極的に挑戦して行くことの中から学び取る事が大切だと思います。仲間の中には得意分野の人達が多いと思いますので意見、忠告を聞いて『自分自身の判断材料』にして実行すると解決出来ると思います。

これからも月星会の皆様とより良い信頼関係を築き人生、仕事に励んで生きたいと思っています。



## 苦境からの脱出

株式会社北原防災  
北原 俊彦

1989年バブル景気が完全に崩れ去り、日本経済は落ち込む一方であった。しかし、政府は1991年になるとバブル不況から脱出したと宣言した。中小企業の不況感はそのような短期に上向きになるとはとても思えなかった。しかし、私は前向きに捕らえ、新社屋の建設にとりかかった。

1992年6月社屋は完成し、この建設費の負担はこの後我が社の経営に大きな負担を強いることになった。景気は一向に良ならず、むしろ、まだまだ落ち込む様子が強かった。当社の売り上げも30%以上も減少して銀行への返済が大きな負担であった。しかし、私も社員もなんとかこの不況を抜け出すためにはと、1件当りの受注金額が小さくても利益率の高い仕事を数多く受注することに全力を傾けた。社員達の仕事量は増加したが、賞与などの増額には結び付かず、しかも売り上げ金額は減少を続け、2003年には最盛期の売上の半分近くまで減少した。

企業の成長は中小企業家同友会で学んだ「人財」、社員を育てることである。経営者も社員共々育っていかねばならない。しかし、この「人財育成」には時間がかかる。中小企業には専門の教育者などいないため、経営者が自ら学びながら社員を育てるしかない。バブル崩壊後必死になって社運賭けた環境作りと社員育成により、2003年をピークに売上減少は止まった。昨年までの4年間毎年10%以上の上昇と利益の向上が続いている。その当時入社した若い社員が成長してきたのが最大の要因と考えられる。社員数は変わっていないからである。

2005年息子が突然、腎臓病で倒れた。そして06年3月私の腎臓を息子に移植し、息子を助けた結果、体力の低下を来し、07年3月胃癌が見つかり、6月手術。体力の回復は難しくなった。それでも、会社はこの間、成長を続けていた。

07年8月、第38期決算でも事業計画達成が報告された。昨年比12%の成長であった。私の体力低下による実務放棄のような状態の中でも4年連続しての事業計画達成であった。

そして今年08年1月再び胃癌発症。なぜ？、前回のときにわからなかったのか、大きな疑問が湧いて来るのを押さえることが出来なかった。そして、3月18日入院即手術であった。

今年は好きなバイクでアメリカの「ルート66」を激走する計画を持っていた。それが、暗雲が立ち込め始めたが、なんとしてもアメリカには行くつもりだ。そして、ハーレーダビットソンに乗り「ルート66」を走り抜く、絶対に行く、

実行する、そう決意している。また、会社の業績は第39期の丁度半分が過ぎたところの2月月次決算書は事業計画を順調に達成させていると報告された。

2008年3月26日



## 私が一番勇気 付けられた言葉

株式会社メリノ  
山崎 栄一

3年前の歳末大売出しの初日の朝。前触れも無く、突然、倒れてしまいました。脳梗塞です。おぼろげな意識の中、目の前に落ちた携帯電話で、やっと119と回すと、後は、目まいと、死の恐怖に震えながら、運ばれて行きました。

数日間続いた吐き気と傾斜感。面白いことに世の中が45度も傾いて見えていました。目まいも取れて来たある日、自分で立とうとしましたが、まったく立てませんでした。再び不安が襲って来ました。

高圧酸素治療と言う方法があります。高圧酸素のカプセルの中に数10分間閉じ込められる治療です。少し閉所恐怖症気味の私には、ちょっと辛い治療でした。間違っても火の気のある懐炉のような物を持って入った人が、数秒で黒こげになった事が有る、などと聞かされると、カプセルの蓋が閉まる瞬間の不安な気持ちは半端では有りませんでした。

その治療に当たっている同年代の看護師さんからもらった言葉です。

私が明日を憂い、不安の中で悶々としているのを見抜いてか、こんな事を言ってくれました。

「社長さんの実力とは、個人がいかにか秀でているか、と言う事より、毎日、どれだけの事をして来たかと、言う事です。」と。

その言葉の意味を続けて、こう解説してくれました。

「今日までどう頑張ってきたかが、今の貴方の実力。こんな時だから、あなたに育てられた人が貴方を支えてくれる。貴方が大切にされたお客さんたちがきっと貴方を待っていてくれる。貴方と集った仲間たちがあなたの力になる。貴方が愛した家族が数倍の愛の力で守ってくれる。こんな時は、普段の時の何倍も会社は力を持つもの、一人でやってきたつもりでしょうが、本当の所、一人でなかったと思える物ですよ。」と。また、「今こそ、自分の実力が、見える時です。それでも駄目な時は、それが自分の実力と思い、覚悟決めればいいのでは。」と続けました。

この言葉を聞いた瞬間から、残りの治療を本当にリラックスして受ける事が出来ました。その後、ほとんど後遺症も無く、職場に戻りました。あの時の看護師さんの言葉を今日に生かそうと思いつつ励んでいます。感謝。



## 迫り来る食料危機

衆議院議員 白井 日出男

近年、我が国の食糧自給率は下がり続けており、現在、食糧自給率は39%まで落ちています。この下落傾向は更に続く予想されます。

国連の「気候変動に関する政府間パネル」は地球温暖化が引き起こす多くの課題の中で、特に温暖化がエネルギーと食糧と水に与える危機に警告を発しました。この三つの難問は相互に関連しており、危険は食料を輸入に頼っている日本にも相乗的に襲ってくるようになります。こうした事態に対して日本のネックは、国土の大部分が山岳地帯で、食糧増産のための耕地が極めて限定されており、食糧危機に際しての対応が困難なことです。

日本は世界で最も食品を輸入している国ですが、いまその食糧生産地で深刻な問題が起きています。世界の穀倉地帯のアメリカの中西部や中国北部地帯、インドの各地の食料生産が危機にあります。これらの地域の水は地下水の汲み上げに頼っていますが、その地下水は数千年に及ぶ山岳の雪解けの水が地下に貯まったもので、過剰な汲み上げで地下水が枯渇しつつあり、

ここ数年の間にも生産の大減産の危機が予想されています。

こうした状況が進むと、2050年には、日本では食料が自由にも買えず、主食の配給制にならざるを得ないとする調査もあります。加えて大きな影響を及ぼすのが、中国です。13億人という膨大な人口を擁する中国の急速な経済発展や人口増による食糧消費増や穀物の生産減少によって、備蓄穀物を使い果たし、数年前から穀物の膨大な輸入国になっており、将来の大きな危機拡大の要因となっています。人口13億人の口を養うという膨大な穀物必要量は、桁違いに大きく、その必要量を補うために必要な輸入増加量は一年間のカナダの穀物生産量に匹敵すると言われています。

加えて地球のオイルピークは越しつつあり、世界のエタノールブームで、原料となるトウモロコシや大麦、サトウキビ等が急速にエタノール利用の回されつつあり、その影響を受けてトウモロコシへ転作され、食料全般が高騰しつつあります。また我が国は輸入している食料の約半分も捨てていると言われており、スーパーで弁当の賞味期限が切れたものを、どんどん廃棄しているのが現状です。

こうした問題を改善すると共に今後、日本の食料自給率を引き上げていくことが必要です。

## 会員の趣味彩々

いくつになっても!! 灰になるまで

(株) ジェイシー教育研究所 御園 一成

私の修士論文のテーマ「日本人成人の高齢者の性に関する知識」から結果の一部を書かせていただきます。アンケート調査では、月星の皆さんにもご協力いただき、有難うございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

日本では1975年に高齢化率が7%を超え、「高齢化社会」に突入しました。その後、85年には高齢化率は10%、95年には14.5%、2005年には20%を超え、2015年には25%を超えます。21世紀の高齢社会は単に高齢者の「数」が増えるということだけでなく、生活環境の変化、医学の進歩により、「健康で自立した老人」が増えるということが特徴です。枯れていく老人像は、もはや過去のものと言えます。こうした背景の下、「高齢者の性」をテーマとし、高齢者を親に持つであろう世代、30代か

ら50代までの方々を対象に、高齢者の性についてどれだけ正しい知識を持っているかという調査研究をしました。1. 年齢が高いほど正しい知識は多い、2. 高齢者が身近にいる人ほど正しい知識は多いだろうと考えてアンケートを分析しました。

結果ですが、まず年齢の点では、男女とも50代が一番多く知識を持っていましたが、40代よりも30代の方が知識を多く持っていました。男性の方が女性よりも知識が多かったのですが、各年代ともその差が同じだったのが、注目すべき点でした。次に、高齢者との接触頻度では、よく接触する人より、ほとんど接触しない人の方が知識を多く持っていました。さらに、家族に高齢者がいる人は最も知識が少なく、このグループの点数は、アメリカで調査されたグループの点数とほぼ同じ結果でした。

年齢による知識の違いは、その時代の教育による違いではないかと考えましたが、十分な研究まで至らず、今後の課題です。また、高齢者との接触と知識の相関関係については、文化的背景の違う日米で同じ結果が出たことは非常に興味深く、今後は韓国、中国などで同様な調査をし、合わせて研究課題としたいと思います。

## 第6回/第7回若手経営者向け経営研修会

H19.12.10/H20.1.18 於：千葉市生涯学習センター

## 経営革新を成功させる「社長の仕事」とは

講師：ちば国際税理士法人 税理士 桐谷美千子氏

去る12月10日、経営研修委員会主催のもと定例の経営研修会が行われた。今回は前回に引き続き、ちば国際税理士法人の桐谷美千子さんよりお話を伺った。前回講義は大変好評で「続編を是非」の声に川名委員長が素早く答えて下さりこの日を迎えた。

まず、岩田会長より開催の挨拶を頂いた。丁度前日に放映された「30人31脚」のテレビ番組の感動を引き合いに出し、月星会も団結して行こう!というお話を頂いた。

奇しくもこの日は3グループに分かれて共同作業を行う内容であった。団結とまではいかないが、共同作業する事は勉強になり楽しい。

今回の講義はバランススコアシート(以下BSC)についての講義であった。BSCは「ビジョンと戦略を明確にし、それらをアクションに落とし込み、成長力と競争力を付け、未来を切り拓き、企業を成功に導く戦略的マネジメント・システムである。」と定義される。

風邪の季節である。「クシャミ、鼻水、鼻づまり、せき、たん、のど荒れ、関節痛、頭痛、発熱、体のだるさ・・・」正に何でもござれの総合感冒薬を彷彿させるが、BSCはそんなにいいものなのだろうか?

そこで今回は、ある「日本そば屋」をサンプルにして、SWOT(スワット)分析という分析方法が紹介された。自社(ここではサンプルのそば屋)の原状をS(Strength・強み)、W(Weakness・弱み)、O(Opportunity・機会)、T(Threat・脅威)の4つの区分に分類して現状分析を行った。

例えば「味に自信がある」「頼りになる職員がいる」ということは

S・強みになる。しかしながら、店舗の老朽化、売上の減少などはW・弱みである。また、仕入れ原価の高騰や大手FCの出店などはまさにT・脅威となることである。そういったことを各グループで話しあうのである。

そうすると、同じ項目でも見方によって多くの取り方があることがわかる。例えば「業界全体のマンネリ化」という項目に対してT・脅威と捉える人と、O・機会(チャンス)と捉える人に分かれる。要するに外的要因は経営者の受け取り次第でどうにでもなり、また強みと思っていた事が実は弱みであったり、弱みと思っていたことが強みになったりと、表裏一体であることがわかる。

恐らく参加者全員がそば屋のサンプルといいながら、自社に置き換えて考えをめぐらせていたのではないだろうか。これこそ成果である。

前回同様時間はあっという間に過ぎて終了となった。「なるほど」と関心するだけでなく、具体的に動く事が大事である。テキストを机の肥やしにすることなく、すぐ実行していこうと思う。

偶然と必然は絶妙なバランスで我々を取り巻いている。この時期にこういった講義を受けたこと、こうして記事を書かせて頂いていること、これ全て偶然であり、必然である。是非今後にかかしていきたい。また、若手経営者の方々には是非次回からでも参加頂き、ともに勉強していけたらと思う。最後にスピーディーに続編を企画し、また、次回続編(1月18日)の企画まで組んで頂いた川名経営研修委員長に感謝して第二回のレポートを終わります。

文責：木下英之



## 「企業格付け」アップ作戦

講師：ちば国際税理士法人 税理士 桐谷美千子氏

去る1月18日、経営研修委員会主催のもと定例の経営研修会が行われた。講師は勿論、ちば国際税理士法人の桐谷美千子さん。いよいよ第三回目に突入した。

これまで毎回出席の岩田会長は、目の手術後ということで残念ながら欠席。川名委員長の挨拶に引き続き講演が始まった。年始早々の為か、参加人数が前回より少し減ったようだ。

今回の講義は前回と少し角度を変えて、自社の「企業格付け」を上げていく為の講義となった。

信用保証協会の保証内容が変わった事により、銀行の融資がより厳しい(安全な会社のみ融資をする)方向に向っている。金融機関の信用を得る為にも、そして自社の経営計画を立てていく為にも決算書をはじめとする『数字』の把握は必要不可欠であり、同じ決算書であっても『テクニック』によって見た目を変えることが出来る。そういった事を実際の事例をもとに学んでいった。

自社の『貸借対照表』はどなたも見られているはず。講師曰く「貸借対照表は、その会社の社長の生きてきた姿そのもの」だそう

です。早速戻って見てみました。皆さんの会社はいかがですか?

何の為に数字を操るのか?逆に数字に操られていないか?その目的をしっかりと分っている事が何より大事である。金融機関からの信用を得るということは、真実の経営を推し進めるということだ。その上でこうした数字のテクニックを活かしていく事が大事である。

理想と現実、建前と本音、難しい事は沢山あるが、こうした講演での勉強、会員同士の交流・ビジネスの交流によって少しでも現状を打破する起爆剤になればと思う。

今回は参加人数が少し減って寂しい感じがした。年末年始の多忙な中、川名委員長が計画し、会長も毎回出席下さっている。この研修は「若手経営者向け研修会」となっている。あえて「若手経営者向け」という冠をつけて、そして回を重ねても、若手が少なくても、冠を外さずに行なわれている。会長や委員長の気持ちに答える意味でも、是非若手の皆さんにご参加頂き、どんどん盛り上げて頂きたいと思います。

文責：木下英之

## 新春朝食例会

H20. 1. 12 於：ホテルグリーンタワー幕張

「腰モゾモゾ・ひざコソコソ」  
大きな健康の輪にライター & 歌手  
小池孔子

「月星会の新年例会があるけれど……？」

小野成子さんからの依頼に戸惑いを覚えながらも好奇心旺盛な私、気軽に誰でも、どこでも簡単に出来る「へなちょこ体操と歌のコラボレーションはどうかしら」と提案した。が不覚にもその日のうちに伊達の薄着で風邪を引いてしまった。以来、痰に悩まされ、声が全くでない状態で当日を迎えることに。加齢のため回復が遅れてしまった。

「歌と体操のコラボ」は自分なりのイメージを描いていたが、この体調でこなすのは到底無理と判断。急遽共に活動している協会の酒井健司さんと卯木良和さんにお手伝い願いました。頂いた時間の関係で、NHKを始め各マスコミで人気NO.1の運動科学総合研究所(高岡秀夫所長)の「寝ゆる黄金三点セット」の紹介となりました。(日頃は1時間30分でゆる体操、ストレッチ、スクワット、触覚ボール

を使用した柔軟を組み込み独自のプログラムで指導しています)

臼井日出男先生を始め、小野さんら会員の方が実際に体験、日頃の仕事の緊張でこわばった身体の各部位や股関節等をときほぐすために「腰モゾモゾ・すねプラプラ・ひざコソコソ」と擬態語を発しながら実践。言葉を発することで心の緊張をほぐしました。簡単で効果絶大で、いつでもどこでも誰でも可能な体操——「黄金の…」と言われる由縁なのです。

この会で自信をつけ以来、明大OB新年会、浦安倫理法人会などでも披露し、3月17日は研究所本部から講師を招き「ゆる体操体験教室」を開催し好評を博しました。この7月12日には明大マンドリンクラブの演奏会でも聴衆の方々に体感して頂くつもりです。

(財)ウェルネス協会のバックアップのもと全県、関東全域にも広がりを見せつつあるのです。

「小さなイベント」がやがて、大きな「健康の輪へと…」誰が想像したでしょうか？こうした機会を与えて頂いた小野さんと「会の皆様」に深謝いたします。



1月のうすい先生のお誕生日に、亀井さんが作られた湯呑み茶碗をプレゼント…



## ボウリング大会

H20. 2. 23 於：アサヒボウリングセンター

## ボウリング大会開催

2月23日、アサヒボウリングセンターにおいて、大人17名(会員10名、ビジター7名)、小人4名、うすい事務所から3名の計24名の参加者で開催されました。

子供用としてガターにボールが落ちないちびっこレーンも用意されて、子供でも楽しめるようになっていました。和気藹々とした雰囲気の中、個人戦が2ゲーム制で行われました。

プレーを終えると懇親会場である「ばかいき」に移動し、懇親会及び表彰式を行いました。優勝者は男性の部が池田商会の飯田さん、女性の部が穴倉さんでした。また、上位入賞者への表彰、子供へのプレゼント配布と盛りだくさんの内容で、楽しい時間を過ごしました。

文責：阿佐一郎



## 会員異動

### 新入会員



**武田 峰子**  
たけだ みねこ  
(昭和34. 1. 29生)  
血液型 A型  
(紹: 徳永康子、小野成子)

勤: リトルハウス株式会社  
役: 代表取締役  
住: 〒262-0032  
千葉市花見川区幕張町5-187-1  
幕張センタービル5F  
TEL 043-310-0010  
FAX 043-310-0015  
携帯 090-4388-0484  
自: 〒262-0026  
千葉市花見川区瑞穂1-13-6  
プロムナードコート302  
TEL 043-308-8406  
趣: 映画鑑賞  
家: 長男、次男、長女



**木内 一晴**  
きうち かずはる  
(昭和43. 7. 9生)  
血液型 O型  
(紹: 臼井正一、小野成子)

勤: 京葉アルミ建材株式会社  
役: 代表取締役  
住: 〒260-0001  
千葉市中央区都町2-15-2  
TEL 043-234-4608  
FAX 043-232-1424  
携帯 090-2148-1090  
自: 〒260-0045  
千葉市中央区弁天3-5-7  
TEL 043-206-1241  
趣: キックボクシング、剣道、  
テニス、スノーボード  
家: 妻(葉子)、長男(一郎)、二男(健介)

### ●住所異動

#### 小野 成子氏

(事業所) 260-0013 千葉市中央区中央 4-4-10 友美ビル 2F  
電話・FAXの変更はありません。  
(自宅) 260-0011 千葉市中央区亀井町 15-15  
TEL. 043-227-5061

### ●住居表示の変更に伴う住所変更

#### 伊藤 嘉国氏

(自宅) 264-0028 千葉市若葉区桜木 6-16-5

#### 高柳 啓一氏

(自宅) 264-0028 千葉市若葉区桜木 6-5-12

#### 橋場 隆夫氏

(自宅) 264-0029 千葉市若葉区桜木北 3-22-6

## 今後の主なスケジュール

6/7 (土)	<b>20年度総会</b> 午後5時30分受付 6時開会 ホテルグリーンタワー千葉
7/27 (日)	<b>夏休みおたのしみ会</b> 詳細未定
9/6(土) ~7(日)	<b>親睦研修旅行</b> 詳細未定



「北京マラソン」

#### 早野 泰広氏

(事業所) 264-0028 千葉市若葉区桜木 6-19-75

### ●お知らせ

臼井日出男代議士が、3月に(財)日本武道館の理事長に就任されました。

### 広報委員のひとりごと

- ◆各種負担増・諸物価の高騰等による一部上場企業以外の中小企業・家計の可処分所得が激減し、商売の環境は↘↘予測。高齢者医療制度の改悪イメージ、さらに消費税のアップも視野に入れば、商売君と選挙さんはどうやって勝つの？団塊世代の退職金頼みですか！！ 産方恒好
- ◆50号で入会、60号で打ち上げです。月星畑の鬼才な野菜を沢山採取、いよいよ選りすぐりのレシピでドン理智子の打ち止めパーティーだ。大勢で盛大にやりましょう。…よろしく計画参謀 産方さん 大浦義信
- ◆ほとんど役立たずのまま、広報委員としての2年間も終了。何だかなあ、早いなあ、まいったなあ〜。 木下英之
- ◆次男カオルも4月から幼稚園。でも毎朝「いきたくない」とぐずります。帰ってくれば「楽しかった!」なんだけど…。早く慣れてね。 戸村 聡
- ◆残された日々の中で、あえて父から息子へ伝える、言葉とか生き方って、有るはずなのでは？手応えを感じぬまま逝かれてしまった。何時か発信していたのだろうか？語るまでも無い背中を見落としていたのだろうか？自分の背中、語る力を持っているのだろうか？合掌。 山崎栄一
- ◆お陰様で会報60号を発刊出来ました。この2年間ヨチヨチ歩きの委員長を支えて下さった委員の方本当に感謝です。又、紙面作りに御協力下さった会員の方々「有難う御座いました。」 林 理智子